

ちひろ美術館・東京  
美術館だより

No.170

2010.9.15









## ひとこと ふたこと みこと



### 7月11日(日)

絵本は子どものための本ではなく、子どもも楽しめる本なんですよ。もっともっというんな年代の人にも広まってほしいです。ちひろさんも赤羽さんも原画がとても魅力的で驚きました。画家としてこんなにすごい絵が描けるのに、お2人は絵本の世界を選ばれた。絵本はやっぱりすごいですね。詩でもあり、小説でもあり、絵画でもあり、マンガでもある、本の総合芸術です！ちひろさんの「大人になること」という文章、あの文章に出会えただけで今日は感動でした。ありがとうございました。(花島隆行)

### 7月18日(日)

ちひろさんが51歳で新しい画風に挑戦！私も今年12月に51歳になります。アンチエイジング！とあ

せりますが、まだまだ挑戦できる年齢なんだと思うと勇気がわいてきました。(友の会NO09-0281)

### 8月1日(日)

約20年ぶりに来館。その間に結婚し子どもも大きくなり、気がつくときちひろさんの晩年の年齢に近づいている自分がいた。昔は、かわいらしい絵に純粋に心温めて帰ったが、今日は、ちひろさんの生き方、家族、そしていろいろな悩みなどが絵の間から伝わってきて、深い部分で心に染みるものがあった。(Y.A)

### 8月1日(日)

塾が休みで家族4人で来ました。いつも美術館に行くと、つまらなくなったり、あきてしまって最後までじっくり見ないことが多いです。でも、ちひろ美術館は全然あきなくて、何度でも見たくなりま

した。図書室の絵も、たくさん見ました。またぜひ見たいです。

(小学6年生 坂本那奈子)

### 〈素材であそぶ展〉

### 7月31日(土)

エリック・カールさんの絵が薄紙をコラージュしたものと初めて知りました。他にもいろいろな手法を見ることができよかったです。私は小学校の教師をしているのですが、ここに子どもたちを連れてきて、見せたあと創作をさせたらとてもいい授業ができそうだと思います。

### 8月3日(火)

絵本の原画のあざやかさ、素材の質感を楽しませていただきました。独身時代にも来館したことがあるのですが、今回は娘と2人で来館し、子どもの視線の素直さに改めて気づかされました。

## 美術館 日記



### 7月4日(日) ☀

赤羽末吉展も残すところ1週間。先月23日に日経新聞に掲載された赤羽茂乃さんの「絵本で伝える人の心」の記事の影響もあり、連日多くの方が来館されている。記事でも紹介された『かさじぞう』で赤羽作品に出会った方も少なくないようだ。

### 7月11日(日) ☁

中国・北京の中央美術学院の先生とデザインを学ぶ学生8名が来館。展示室では、作品の一つ一つに、熱心に見入っている。同大学併設の美術館では、9月にちひろのピエゾグラフィ展の開催を企画中。

### 7月31日(土) ☀

台湾で初めてのちひろのピエゾグラフィ展が、台北にある国立台湾図書館で初日をむかえた。図書館のスタッフ、台東大学の先生や学生、ボランティアの皆さんの協力

で、充実した展示がスタート。会場で書かれたメッセージには「(ちひろさんが)残してくださいましたとの美しさを受け取っています」との言葉も。

### 8月1日(日) ☀

「宿題・課題応援します!」受付では、夏休みの美術の課題をかかえてやってくる子どもたちへ、メモを取るためのクリップボードや鉛筆を貸し出すことに。宿題をきっかけに、お気に入りの作品や絵の不思議を発見してもらえたらうれしい。

### 8月6日(金) ☀

連日の猛暑のなか、館内に子どもたちの声が響く。図書室の「わたしの〇歳の挑戦」コーナーでは、思索顔でカードに書き込む姿も。「まいにちじぶんですきなえほんをよむ たまにおかあさんによんであげる(5歳)」「さかあがりか

できるようになりたい(10歳)」「保育士になるため挑戦しています(19歳)」「母の介護中。ハッピーを見つけて笑顔で接するよう頑張りたい(48歳)」「40年ぶりにピアノのレッスンを始めます(50歳)」など、さまざまな年代の挑戦が近づられている。

### 8月10日(火) ☀

7月16日に開催された「上野千鶴子×松本由理子対談」がウイメンズアクションネットワーク(WAN)のご協力により本日からYouTubeで視聴できることに。WANのサイトでは上野さんをはじめ、さまざまな方がちひろの作品や絵本、人生を紹介してくださり、さらに「ちひろと私」のテーマで、エッセイ募集も企画して下さった。どんなエッセイが寄せられるのか楽しみだ。

## 窓

### インターネットの力

松本由理子(ちひろ美術館・東京 副館長)

突然バンクーバーから届いたメールに、ネット配信の威力を思い知らされた。

10年前に退職し、いまは夫の赴任地バンクーバーで暮らしている元スタッフからだ。ちひろの命日と自分たちの結婚記念日が同じ8月8日で、その日、ネット上で上野千鶴子さんと私の対談を見たという。

安曇野館誕生前後から、リニューアルのために旧東京館を取り壊す時期まで、ともに働いた人だ。「美術館は、柱になる精神は変わらないですが、いつも前へ前へと前進し続けていますね。いつも心から応援しております」との言葉に、胸が熱くなる。

安曇野ちひろ美術館が誕生して13年。「ちひろの絵に出会える場所を」との声から出発した当館は、赤羽末吉さんの全作品・資料の寄贈をきっかけに安曇野館を建て、世界中の絵本画家の作品を収集・研究・公開する絵本の専門美術館としての道を歩み出し、いまではちひろの作品数をはるかに越える他の絵本画家の作品を持つに至った。

空間の広がりとともに、「見る」だけの美術館から、「やってみる」体験・参加型の活動にも取り組めるようになり、地域や関連機関とのネットワークは、国内のみならず、海外まで、大きく広がってきている。

近年、韓国や台湾、中国からの来館者も増えた。当館HPにグローバル版をつくり、英語のほか、上記3カ国の言語で発信し出したことも大きい。ネットで調べて来館される方がほとんどだ。そんな来訪がきっかけとなって今夏は、国立台湾図書館でピエゾグラフィによるちひろ展も開かれた。同様の展覧会は昨年来、韓国では8回に及ぶ。9月には、中国の北京でも開催される。

訪れられない方々にも美術館を楽しんでいただきたい—そんな思いを一部可能にしてくれるインターネット。今秋、当館HPの全面リニューアルを行う。乞うご期待。

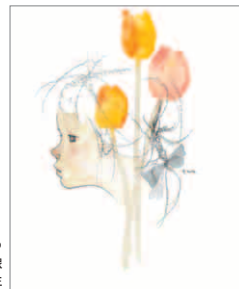
## ●次回展示予定 11月17日(水)～2011年1月30日(日)

### ちひろとちひろが愛した画家たち

ちひろの代表作や油彩、素描とあわせて、ちひろが愛した画家や、師事した画家たち——初山滋、マリー・ローランサン、岡田三郎助、中谷泰、丸木位里、丸木俊、ケーテ・コルヴィッツなど——の作品を展示し、ちひろが独自の画風を確立するまでの影響や変遷をたどります。



初山滋 『にんぎょひめ』より 1967年



いわさきちひろ  
チューリップのある少女像  
1973年

## ちひろ美術館・東京イベント予定

<http://www.chihiro.jp/>

各イベントの予約・お問い合わせは、ちひろ美術館・東京イベント係へ。TEL.03-3995-0612 E-mail: chihiro@gol.com

### ●「2000年代の日本の絵本展」展示関連イベント

#### 長谷川義史講演会「ぼくが描いた絵本たち」

2000年代、ユーモアにあふれるあたたかな絵本を次々に描いた長谷川義史が、自作について語ります。

- 日 時：9月20日(月・祝) 17:30～19:00
- 講 師：長谷川義史(絵本作家)
- 定 員：80名
- 参加費：1000円(※展示をご覧になる場合は入館料別)
- 要申し込み **8月20日(金)より受付開始**
- ※終了後、サイン会を予定しています。



長谷川義史プロフィール：1961年大阪生まれ。グラフィック・デザイナーからイラストレーターへ。現在は絵本作家として活躍。2003年「おたまさんのおかいさん」で講談社出版文化賞絵本賞、「かあちゃんかいじゅう」で第14回けんぷち絵本の里大賞、2008年「ぼくがラーメンたべるとき」で日本絵本賞、小学館児童出版文化賞、「いいからいから3」で第19回けんぷち絵本の里大賞受賞。

### ●「2000年代の日本の絵本展」展示関連イベント

#### シンポジウム「2000年代の日本の絵本を語る」

日本の絵本に深く関わる3人が、それぞれの立場から2000年代を振り返り、絵本のこれからを展望します。

- 日 時：10月16日(土) 17:30～19:00
- パネリスト：土井章史(トムズボックス代表)、広松健児(偕成社編集者)、竹迫祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)
- 定 員：80名
- 参加費：700円(※展示をご覧になる場合は入館料別)
- 要申し込み **9月16日(木)より受付開始**

### ●ワークショップ「ねんどであそぼう」

たくさんのねんどで、体をいっぱいに使って遊びましょう。小学生の部では、みんなでねんどの町をつくります。

- 講師：オガサワラマサコ(造形作家)
- 日時：12月18日(土)  
13:00～14:00(対象:3歳以上の幼児)  
15:00～17:00(対象:小学生)
- 定員：各回20名
- 参加費：500円(※子どもは入館無料)
- 要申し込み **11月18日(水)より受付開始**



### ●わらべうたあそび

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。0～2歳までの乳幼児と保護者対象。

- 日 時：12月18日(土) 11:00～11:40
- 会 場：図書室
- 定 員：15組30名
- 講 師：服部雅子
- 参加費：無料(入館料のみ)
- 要申し込み **11月18日(水)より受付開始**

### ●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日14:00より、展示室にて、作品の解説や展示のみどころなどをお話します。

### ●えほんのじかん

毎月第2・4土曜日11:00より、展示や季節にあわせて、絵本の読み聞かせなどをおこないます。(参加自由) \*授乳室もご利用になれます。

今秋、ちひろ美術館のホームページが全面的にリニューアルします。

<http://www.chihiro.jp/>

### ●新刊紹介『ちひろ 秋の画集』

ちひろの残した約9400余の作品を季節ごとにまとめた新シリーズ画集の第1弾。情趣あふれる秋の作品を、初掲載作品も含み満載しています。



- 9月15日発売
- 体裁：220×200ミリ、108ページ
- 定価：2000円(税込)
- ちひろ美術館・編/講談社・発行

### ●2011年ちひろカレンダー発売中

- 大判カレンダー  
平和と核兵器廃絶を願って制作されるカレンダーです。販売価格：1470円(税込)
- ポストカードカレンダー  
使用後は、切り取ってポストカードとして使用できる卓上型カレンダーです。  
販売価格：スタンド付き 1890円(税込) / スタンドなし 1260円(税込)



### ●11月21日(日) 友の会 交流会のお知らせ

恒例の、友の会交流会を開催します。展示のみどころ紹介や、若き日のちひろを知る特別ゲストのトーク、今後の美術館についてみなさんと語る時間などを予定しています。詳細は別紙「2010年友の会交流会のご案内」をご覧ください。会員以外で参加ご希望の方は、ちひろ美術館・東京「友の会」担当までお問い合わせください。

- 日時：2010年11月21日(日) 16:00～19:30(予定)
- 会場：ちひろ美術館・東京

### CONTENTS

〈出版記念展〉ちひろ・秋のいろいろ / 〈企画展〉2000年代の日本の絵本展……②③

〈活動報告〉連続講座「赤羽末吉・絵本づくりの舞台裏」/ 対談 上野千鶴子×松本由理子「いわさきちひろ・50代の挑戦」…④  
ひとことふたことみこと / 美術館日記 / 窓・インターネットの力…⑤

美術館だより No.170 発行2010年9月15日

## ちひろ美術館・東京